

デジタル技術を活用した専門性の継承の取組

# 「弱視児の読み書きの指導」

オンデマンドでご視聴いただけます。

- 期間 令和6年12月2日(月)～令和7年1月31日(金)
- 講師 北海道鷹栖養護学校教諭 橋詰 郁朗先生  
(元北海道旭川盲学校教諭)
- 略歴 平成14年度より、北海道旭川盲学校において取り組まれた教育相談を中心となって担い、その成果が医療機関に認められ、多くの学習障害児を紹介され指導に当たられた。  
平成22年度 文部科学省大臣優秀教員表彰  
全日盲研、日弱研等で論文発表多数
- 内容 「一人一人に合った学び方が必ずある」との考えで指導に当たられ、成果の認められた指導方法や自作教材、さらに、AI指導支援ツールの取組もご紹介します。
- 申込 次のURLかQRコードより個人でお申し込みください。なお、アンケートへのご協力をお願いいたします。  
<https://qr.paps.jp/6fHjZ>



口唱法を使った指導(自作教材:漢字部品欠損カード)

## 「漢字欠損カード」

カード式教材です  
表は漢字の部品が欠損、裏は普通の漢字が書かれています

表の部品が欠損している漢字を見て、欠損している部分を言葉(「つち」「こどもの子」等)で言いながら学習します

視覚障害だけでなく、書くことを嫌がる子、忘れやすい子の指導にも適していると思われます



- お問い合わせ:北海道札幌視覚支援学校研究研修部  
E-mail : [sapporoshikaku-z0@hokkaido-c.ed.jp](mailto:sapporoshikaku-z0@hokkaido-c.ed.jp)